

**無線 LAN デュアル端末を内線端末として利用
日立マルチコミュニケーションシステム「ET-iA」を機能強化
より使いやすく、洗練された新多機能電話機をあわせて発売**

株式会社日立コミュニケーションテクノロジー(取締役社長:青木 榮司、以下 日立コム)は、「ビジネスクラス VoIP ソリューションパッケージ VoxiP(ボクシップ)(*1)」の小中規模オフィス向け製品であるマルチコミュニケーションシステム「ET-iA (サード)」に無線 LAN デュアル端末接続機能を追加するとともに、新多機能電話機を2007年12月14日より発売しました。

(*1)VoxiP は、株式会社日立製作所が提供する「通信・情報システム融合ソリューション CommuniMax」に基づくソリューションパッケージです。

ビジネスの迅速性や効率化が求められる中で、固定通信と移動通信を融合した FMC(Fixed Mobile Convergence)のニーズが高まっています。通信事業者もこのようなニーズにあわせてさまざまなサービスの提供を開始しており、利用するユーザ層も大規模なオフィスから小中規模のオフィスに広がりつつあります。

日立コムはこのような状況の中で、既に大規模オフィス向けの IP-PBX「IPTOWER-SP シリーズ」、「NETTOWER CX9000IP」で無線 LAN デュアル端末接続機能をサポートしていますが、このたび小中規模オフィス向けの製品である「ET-iA」でも機能を追加しました。本機能により外出時は携帯電話として利用している端末を、オフィスでは内線の端末として利用できます。1台の端末でオフィスでも外出先でも利用できる「利便性」と、オフィス内では固定回線を利用して通信コストを抑える「経済性」とを両立させることができます。

「ET-iA」は、回線容量により「ET-6.10iA」「ET-40iA」「ET-108iA」の3機種をラインアップしていますが、その3機種全てにおいて KDDI の au 無線 LAN 対応携帯電話、および NTT DoCoMo の FOMA/無線 LAN デュアル端末の双方に対応しました。特に「ET-6.10iA」は、KDDI と NTTDoCoMo との双方の無線 LAN デュアル端末を接続できるビジネスホンとしては、業界最小規模(*2)のシステムです。日々忙しく飛びまわり、携帯電話の手放せない小規模なオフィスにおいて、使いやすい FMC 機能を提供します。

(*2)2007年12月13日現在弊社調べ

これにあわせて「ET-iA シリーズ」用の多機能電話機として新電話機も発売しました。「ET-iA シリーズ」の電話機は、携帯電話感覚の操作性を実現するカーソルキー、着信時にバックライト色で発信者を識別できる7色カラーバックライト付ディスプレイ、大きく押しやすいダイヤルキーなど「見やすい」「使いやすい」電話機としてご好評をいただいておりますが、このたびキー形状およびパネルデザインの変更を行い、より使いやすくかつスタイリッシュなデザインの電話機としました。

マルチコミュニケーションシステム「ET-iA シリーズ」は2004年9月の発売以来、各通信事業者 IP 電話サービスの積極的なサポート、内線の IP 化による音声+映像ソリューション、PC と電話の連動による CTI 機能などを通じて、経費の削減や業務の効率化を提案してきました。FMC ソリューションとして無線 LAN デュアル端末接続機をサポートし、小中規模オフィスにおけるモバイルコミュニケーションのさらなる革新を提案していきます。

【ET - iA 機能強化概要】

1. 無線 LAN デュアル端末接続

「ET-6.10iA」「ET-40iA」「ET-108iA」3機種全てで対応

内線、外線あわせて18ポートの「ET-6.10iA」から同108ポートの「ET-108iA」まで、「ET-iA」3機種全てで無線LANデュアル端末接続に対応。

小規模なオフィスでの使いやすいFMC機能を提供。

au「E02SA」、NTTDoCoMo「FOMA N902iL」双方に対応

KDDIのau無線LAN対応携帯電話「E02SA」と、NTTDoCoMoのFOMA/無線LANデュアル端末「FOMA N902iL」との双方を内線電話機として利用可能。

内線利用で便利な転送機能の充実

外線ボタンのない無線LANデュアル端末に外線を転送する場合、2通りの運用が可能。

- ・内線番号をダイヤルして直接転送し、無線LANデュアル端末で応答。
- ・保留している外線ボタンの番号を口頭で伝え、転送先の無線LANデュアル端末で「応答番号+外線ボタン番号」をダイヤルし応答。

2. 新多機能電話機

全面パネル

電話機操作部の全面をパネル化。メタリックカラーシートとクリアパネルの組み合わせによりスタイリッシュなデザインに。

標準電話機および停電用電話機で白色、黒色をラインアップし、オフィスの家具にあわせて選択可能。

カーソルキー

携帯電話感覚の操作性を実現するために、電話機中央に配置したカーソルキーを角型形状にし大型化し、上下左右のキー操作の使い勝手を向上。

充実の基本機能

「ET-iAシリーズ」の多機能電話機(*3)は、「全角10文字×6行表示」「7色カラーバックライト付ディスプレイ」「誘導コイル付補聴器をお使いの方が聞きやすいヒアリングエイド対応ハンドセット」など多彩な機能を基本機能としてサポート済み。

(*3)コードレスタイプの多機能電話機は除く

【販売計画】

年間20,000セット

【価格および発売、出荷時期】

機 種	システム価格	発売時期	出荷時期
日立マルチコミュニケーションシステム 「ET-iA」	定価：446,250円～ (税抜き425,000円～) (構成:主装置1台、多機能電話機5台)	2007年12月14日	2008年1月7日

()上記価格には、オプション、周辺機器費、SE 費、工事・保守費を含みません。

【他社商品名称に関する表示】

「FOMA」は株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。

その他記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

【製品についてのお問い合わせ先】

株式会社日立コミュニケーションテクノロジー

営業統括本部 IPネットワーク戦略プロジェクト マーケティング部 [担当：高野]

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号 大森ベルポートD館

電話 03-6404-1271 (ダイヤルイン)

【報道についてのお問い合わせ先】

株式会社日立コミュニケーションテクノロジー

コーポレートサポート室 ビジネスサポート部 [担当：早川]

〒140-0013 東京都品川区南大井六丁目26番3号 大森ベルポートD館

電話 03-6404-1232 (ダイヤルイン)

【ホームページURL】 <http://www.hitachi-com.co.jp/>

【問合せ先メールアドレス】 web-com@hitachi-com.co.jp

【補足資料】

1. 多機能電話機の外観



30 ボタン標準電話機



30 ボタン標準電話機（黒）

2. 主な仕様

項目			仕様			
			ET-6.10iA	ET-40iA	ET-108iA	
回線容量 (初期実装/ 最大容量/ 増設単位) (注)	外線	INSネット64	0/3/1 又は 2	0/4/1 又は 2	0/24/2 又は 4	
		アナログ	0/6/1 又は 2 又は 4	0/12/1 又は 2 又は 4	0/48/4 又は 8	
		IP 電話(チャット)	0/8/4	0/8/4	0/48/4 又は 8	
	内線	多機能電話	6/10/4	10/26/4 又は 8	0/96/4 又は 8	
		単独電話	2/6/4	2/10/4	0/100/4 又は 8	
		長距離内線	-	-	0/24/2	
		IP 端末	0/4/4	0/8/4	0/88/4 又は 8	
		無線 LAN デュアル端末	端末接続数	0/12/1	0/28/1	0/48/1
			同時通話 可能数	0/4/4	0/8/4	0/48/4 又は 8
		事業所用 PHS	親機	-	0/2/1	0/14/2
			子機	-	0/28/1	0/78/1
	専用線	OD/LD	-	0/2/2	0/10/2	
	外線+内線+専用線容量 [外線はアナログ換算]		最大 18	最大 40	最大 108	
主装置寸法(幅×奥行×高さ mm)		約 380×111×316	約 475×111×316	約 477×216×747		
主装置質量(kg)		約 4kg	約 5kg	約 28.4 kg		
最大消費電力(W)		58	180	320		
電話機寸法(幅×奥行×高さ mm)		約 182×258×89.5(標準電話機)				
電話機質量(kg)		約 0.9(標準電話機)				
使用環境条件		周囲温度:0~40、相対湿度:20~85%(但し、結露なきこと)				

(注) 組み合わせ及びオプションの実装により最大数は変わります。

このニュースリリースの掲載情報(製品価格、製品仕様、サービス内容、発売日、お問い合わせ先、URL など)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
